



## 宇都宮ロータリークラブ会報

Rotary



宇都宮ロータリークラブ 会長 岡崎善胤・幹事 熊本勇治 ID#13888

テーマ「ロータリーは何をするか？」各々のロータリーの価値を行動しましょう！

国際ロータリー会長 バリー・ラシン テーマ BE THE INSPIRATION

国際ロータリー第2550地区 2018-19年度ガバナー 伊東永峯

テーマ「ポールを語ろう...それは一人のインスピレーションから始まった」

例会日 火曜日 12:30 会場 宇都宮東武ホテルグランデ 宇都宮市本町 5-12

事務所 宇都宮市江野町 1-12 栃木実業ビル2F Tel 028-666-0555

E-mail [u-rc01@silver.plala.or.jp](mailto:u-rc01@silver.plala.or.jp) FAX 028-666-0333

(2018年) 平成 30年 9月 25日 No 12 2018~2019年度 (第 3261 回会報)

会員数 105名 出席者数 58名 出席率 62.4%

### ビジター紹介 (親睦活動委員会 明賀一博委員長)

廣瀬佳正様 (ゲストスピーカー)

### ニコニコボックス委員会 (重信猛雄委員)

誕生祝: 増渕好次郎会員

奥様誕生祝: 佐々木英典会員

### プログラム紹介 (プログラム委員会 岸本卓也委員長)

宇都宮ブリッツェンのゼネラルマネージャー、サイクルスポーツマネジメント(株)取締役廣瀬佳正様に卓話をお願いしております。何度か、こちらにおこし頂いております。では、拍手でお迎え頂きたいと思っております。

### 卓話「宇都宮が世界に挑戦」

サイクルスポーツマネジメント(株)取締役 廣瀬佳正 様



皆さん、こんにちは。何時も大変お世話になっております。只今ご紹介を賜りました宇都宮ブリッツェン ゼネラルマネージャーの廣瀬佳正です。栃木県宇都宮市出身です。2008年在籍していましたチームから宇都宮に戻ってきまして、宇都宮ブリッツェン日本初の地域密着型プロ自転車チームを設立させて頂きました。本日は「宇都宮が世界に挑戦」というテーマに沿って卓話をさせていただきます。

-スクリーンをご覧下さい-

宇都宮ロータリークラブ様には「ツール・ド・とちぎ」を支えて下さる企業様が沢山いらっしゃいます。すでに多くの事をご存じと思いますが、改めてご説明をさせていただきます。2008年に発足しました。皆様のご支援を頂きまして、今年10周年を迎える事が出来ました。宇都宮ブリッツェンのチーム運営の他に、アマチュアチーム運営又昨年から小学校4年生から6年生対象のジュニアチーム運営もしております。プロの運営だけでなく、レースの運営も行っております。例月10月19日から21日迄行われますジャパンカップクリテリウム・ジャパンカップサイクルロードレースの運営も行っております。ジャパンカップは見るスポーツとして皆様楽しんで頂いておりますが、参加するイベントも開催しております。「うつのみやサイクルピクニック」「那須高原ロングライド」「ツール・ド・NIKKO」等参加者が2000人を超える大きなイベントも運営をしております。チケット収入が無いスポーツですので、参加料が大きな運営の柱となっております。最近では「スポーツツーリズム」「サイクルツーリズム」という言葉を聞いたことがあるかと思いますが、宇都宮に来て頂き・大自然の中を走り・食べて観光をするという事業も行っています。宇都宮市より宇都宮駅前の宮サイクルステーション又宇都宮森林公園のサイクリングターミナル管理の委託を受け、運営をしております。地域貢献として幼稚園児から高校生までの皆さんに自

転車安全教室をひらいております。今年で10年を迎え、年間平均5000人の子供達に安全指導を行っております。延べ人数5万人に達しています。子供達に宇都宮ブリッツェンを知って頂き、将来的にブリッツェンを目指す選手やツール・ド・フランスを目指す選手が育つ架け橋が出来ればと思います。現在、宇都宮ブリッツェンには10名の選手が所属しております。エースは増田成幸選手（仙台市）です。登り坂が非常に強い、日本でトップクラスのクライマーと言われております。鳥人間コンテストの日本記録保持者です。49キロ空を飛び続けた人材です。未だこの記録は破られていません。栃木県出身者では、小野寺玲選手が鹿沼市出身、雨澤毅明選手が下野市出身です。二人は元々我々の組織チームから加入し自転車を始めました。実力を付けて宇都宮ブリッツェンに加入しました。この二人も日本代表です。小野寺選手は、昨年アジア選手権トライアル種目に優勝をしたアジアチャンピオンです。雨澤選手は、今年度アジア大会日本代表で金メダルを獲得しました。昨年、ジャパンサイクルロードレースで3位でした。地元から選手を発掘育成し、世界で活躍する選手を育てる事が宇都宮ブリッツェンの育成システムです。発足から10年、今年の成績は開幕戦・2戦目も優勝しました。地元ホームレースの宇都宮クリテリウムJプロツアー・宇都宮ロードレースでも2連勝しました。国際レースの「ツール・ド・とちぎ」でも2年連続3位で表彰台に上がっております。外国勢の出場する国際レースでも活躍しております。世界チームが参加する「Tour of Japan」というレースでも、鈴木譲選手が山岳賞を獲得しました。世界遺産の熊野古道を中心に走る「ツール・ド・熊野」でも、阿部選手が優勝しました。国内ツアーでは10勝、国際ツアーを合わせると13勝という成績をあげています。国内ツアー10月6日が最終戦ですがこの最終戦を待たずに、宇都宮ブリッツェンは年間の総合優勝を確定しました。今年の国内ツアーにおきましては、宇都宮が日本一に決定しております。この活動は、宇都宮市を始め多くの企業様に支えられております。現在ユニフォームのスポンサーは27社、オフィシャルスポンサーは86社です。オフィシャルサプライヤー（物品提供）は、41社です。オフィシャルパートナーは13社、現在167社の企業様に我々は支えられております。この様な支えの中、今年記念すべき10周年で日本一になることが出来ました。ジャパンカップ サイクルロードレース、世界のトップレーサーが宇都宮に集合して競い合う3日間があります。日本チャンピオンチーム又我々のホームタウンとして、世界に挑みたいと思います。

10月19日宇都宮オリオンスクエアで、18時よりプレゼンテーション選手の紹介があります。毎年2000人位の皆さんがお見えになります。この3日間は、県内のホテルほぼ予約でいっぱいです。10月20日、市内大通りでクリテリウムが行われます。翌日21日、宇都宮森林公園でサイクルロードレースが行われます。ジャパンカップの歴史です。1990年、宇都宮市でロードの世界選手権が開催されました。何故宇都宮で開催されたかといいますと、競輪選手の中野浩一さんが世界選手権で10連覇しました。日本に選手権を誘致しようと、開催舞台が宇都宮市と前橋市になりました。前橋市には競輪場が建設され、宇都宮市はロードレースの開催に決まりました。日本では競輪が一般的でトラック競技の人气が盛り上がるかと思われましたが、ロードレースのほうに世界から沢山の方が訪れました。2年後に、1回だけの自転車レースの世界選手権で終わらせるのではもったいないと宇都宮市が1992年第1回目のジャパンカップ サイクルロードレースを開催致しました。1996年ワールドカップシリーズとして開催されたジャパンカップに、通常より強い選手・チームが来日し、大変盛り上がりました。1997年日本人初の優勝者が誕生しました。当時マペイGBという世界最強チームに所属していた阿部良之選手が、日本人として初めて優勝をしました。その以降ジャパンカップロードレースで優勝した日本人はおりません。森林公園で行われていたロードレースが、2010年ジャパンカップ・クリテリウムとして街の中で開催されました。森林公園でのロードレースは、どちらかといいますとロードレースファンが足を運んで見に行きます。街中でレースをする事により、今迄自転車競技を見ていなかった市民の方にもプロのロードレースを見て頂けるようになりました。これによってジャパンカップが大きく宇都宮市民に受け入れられる様になりました。2017年ジャパンカップサイクルロードレースで雨澤選手が3位になり、優勝という大

きな文字が見えてきました。2018年8月、宇都宮市長がスイスに本部があります国際自転車連合を訪問しました。現在の世界レース第2カテゴリーのジャパンカップをワールドツアーという第1カテゴリーに昇格させようと意見交換をされました。「ツール・ド・フランス」イタリア一周の「ジロ・デ・イタリア」スペイン一周の「ブエルタ・ア・エスパーニャ」等、世界トップレースの中にジャパンカップを組み込もうと新聞に大きく発表しました。ワールドツアーに昇格しますと、世界のトップチーム5~7チームがジャパンカップに参加してきます。世界にはUCIプロチーム次にプロコンチネンタルチーム次にコンチネンタルチームがあります。ワールドチームに昇格すると言うことは、サッカーで言いますとトヨタカップ又ワールドカップが宇都宮で開催されるという事です。中々直ぐにと言うわけにはいきませんが、宇都宮市は大きな目標を掲げております。1990年世界選手権が開催されるきっかけとなったのは、中野浩一さんの10連覇です。そのおかげで宇都宮ブリッツェンが誕生しました。実は中野浩一さんの10連覇達成の第1回目の出場は補欠だったそうです。出場枠を取った先輩の体調不良により、代わりに出場した中野浩一さんが優勝したそうです。ジャパンカップの自転車シーズンは11月で終わります。ジャパンカップを最後に引退する選手が、ここ数年増えてきています。スイスの英雄ファビアン・カンチェラーラ選手が2年前の2016年ジャパンカップのレースを最後に引退しました。世界のトップ3のレースで優勝したスペインのアルベルト・コンタドールという選手が昨年宇都宮のレースを最後に引退しました。ジャパンカップに、この選手は来るはずがないと言われていた選手が参加しその後の引退でしたので、ジャパンカップをもって引退というドラマが生まれてくるようになりました。今年も世界で活躍したある選手が、ジャパンカップで引退セレモニーを行う予定です。宇都宮が主催するジャパンカップ、2年前に観戦者数13万5千人という最高記録を作りました。この3日間の宇都宮市経済効果は、28億円です。バス・電車・タクシー・高速道路をご利用頂きます。街中の居酒屋・餃子店・カクテルバー・レストラン、市内の宿泊先、土産店・ショッピングモール等をご利用して頂きます。これらの効果が28億円です。今年最終戦を待たずに優勝を決めた宇都宮ブリッツェンが、昨年の表彰台で3位を勝ち取りました。この大舞台での優勝をめざしております。10月19日から21日、是非皆様に会場へおこし頂き、レースを見て頂いてスポンサーになって頂ければと思います。2020年の東京オリンピックにブリッツェンから3名が強化指定選手になっており、代表入りをする可能性があります。2019年の国際レースで国際ポイントを多く獲得した日本人上位2名が、確実に2020年のオリンピック出場枠に入ります。宇都宮市長のジャパンカップをワールドツアーに昇格させる目標と合わせて世界に向けて頑張っただけでなく、ゆきたいと思っております。御清聴を有り難うございました。

-----  
【9月卓話予定】

9月25日「宇都宮が世界へ挑戦」

廣瀬佳正様

サイクルスポーツマネージメント(株) 取締役

【10月卓話予定】

10月 4日「米山奨学生として、私のロータリーライフ」

タマング・クマリ様 米山記念奨学生 宇都宮大学 大学院 国際学部

10月 9日「私のロータリー」

川名 悟様

2550 地区第3グループA ガバナー補佐

10月16日 クラブ特別休会

10月23日 未定

10月30日 未定



=今日の食事

ハンバーグ&ミックスフライ (海老フライ・クリームコロッケ)

ライス

スープサラダ

会報担当：三井 勝滋 会員

画像担当：篠崎 昌平 会員